

市民と共に創る新しい渋川市



渋川市長

星名 建市

明けましておめでとうございます。輝かしい新年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。

市長就任後、市民の皆さまの声に注意深く耳を傾け、さまざまな問題点を確認してまいりました。その現場の声、市民の負託にお応えするため、渋川市長として、「起死回生」の決意をもって、政策課題に真直面から向き合います。

そして、令和の時代における渋川市のグランドデザインをしっかりと描き出し、将来世代に不安を残さない持続可能なまちづくりを進めてまいります。

市民の皆さまには、これから、良いことも

悪いこともありのままに伝え、理解を得ていくガラス張りの市政を目指すことをお約束いたします。

また、議会とは、車の両輪のように互いを尊重し、均衡を保ちながら、それぞれの立場で、しっかりと政策的な議論を交わしてまいります。

新年の干支は「午」です。この躍動と前進の象徴のように、渋川市は「オール渋川・チーム渋川」として、さまざまな困難に立ち向かい、未来を切り開いてまいります。

市民の皆さまが将来にわたり誇りに思える、魅力あるまちづくりに、全力を尽くすことをお誓いし、新年のご挨拶といたします。

共生と包摂の社会へ



渋川市議会議長

安力川 信之

新しい年を迎え、市民の皆さまに心よりお祝いを申し上げます。

渋川市は、本年2月20日に、一市一町四村での合併から20周年という大きな節目を迎えます。一体感の醸成に心を砕いてきた一人として、感慨深いものがこみ上げてまいります。この20年、地域を支える市民の皆さまの力強い歩みに改めて深く感謝申し上げます。

十数年前は、年間五百人以上の出生数がありました。間もなく二百人台に激減します。止まらない少子高齢化や公共インフラの老朽化対策、防災や福祉の充実など、これからの渋川市の未来へ向けて、取り組むべき課題がたくさんあります。また足下では、物価高騰、

人手不足など暮らしを取り巻く環境は大変厳しくなっています。そうした中で、皆さまの声を丁寧を受け止め、暮らしに寄り添った市政の実現を支えていくことが、市議会の重要な役割であると感じております。

分断と対立をエネルギーにする社会から、共生と包摂へ、お互いの立場を認め合い、助け合える社会を目指さなければなりません。市議会として改革の流れを止めることなく、希望と誇りに満ちあふれた渋川市を目指して全力で取り組んでまいります。

新しい一年が、市民の皆さまにとって健康で穏やかに、そして希望に満ちた年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

今年は「午年」

「午」は太陽が最も高く昇る正午を指し、物事が最高潮に達する時期、成長のピークやエネルギーの充実を表します。

馬は、古くから生活や農耕に欠かせない、暮らしを支える存在として親しまれてきました。その力強さから飛躍や前進の象徴とされ、神社では「神馬」として神聖視されるなど、日本の文化に深く根付いています。

2026年の干支(十二支の組み合わせ)は「丙午」です。火の力が重なることで情熱や勢いが高まり、温めてきたことを大きく進められる年になるとされています。

太陽のような明るさと、馬のような前進力をもって、未来へ力強く進む年となることを願います。

〈表紙の紹介〉

今月の表紙は、午年にちなんだ一枚です。伊香保グリーン牧場の協力の下、ポニー乗馬の様子を撮影しました。

ポニーの「ロバオ」の背に揺られながら、日常では味わえない風景を楽しんだ男の子は、終始笑顔で乗馬体験に胸を弾ませていました。また、馬の「ゴエモン」を優しくなでることもでき、動物との温かな触れ合いを存分に体験しました。



当日の様子を収めた動画はこちら

